

浄化の塩の使い方

1. 『浄化の塩』の概要について

『浄化の塩』は、浄化目的に調整・エネルギーグッズ化した「盛塩用の塩」です。

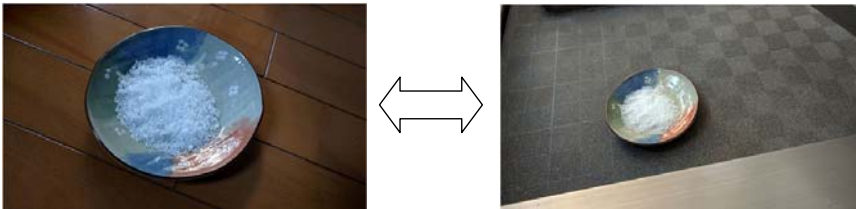
エネルギーグッズを創る際は、素材に対して、「普通のものよりも遙かに大量のエネルギー」を組み込みますが、『浄化の塩』は、この『エネルギーグッズ作成のノウハウ』を応用して、「普通の塩よりも遙かに大量のエネルギーを吸い込むことができるように設計した塩」ですので、より効率的・効果的に『場の浄化』を行うことができます。

特に、『純粋なエネルギーワークでの浄化』の苦手分野』である、『ネガティブな感情エネルギーの浄化』『生命力を纏ったネガティブエネルギーの浄化』などに向いています。

2. 基本的な使い方

お皿に移して、『盛塩』としてご利用ください。
盛り方(形や量)は自由ですが、ややふんわり気味に置いた方が、ネガティブエネルギー吸収率は高くなります。

『浄化の塩』は、(環境にもよりますが)約4時間～8時間程度でいっぱいまでエネルギーを吸います。逆に、15分ほど外の空気に当てることで、吸い込んだネガティブエネルギーを放出します。



初めて部屋を浄化する際には、朝・昼・夜と、1日3回程度を目安に浄化すると良いでしょう。場が十分に浄化された後は、1週間に1回程度のメンテナンスで大丈夫です。

ダウジング・キネシオロジーなどを習得されている方は、「吸ったエネルギーは満杯か?」(90%以上か?、80%以上か?、70%以上か?・・・)「完全に放出したか?」「部屋を100%浄化できたか?」などといった質問をすると、より効率良く『場の浄化』を行うことができます。

なお、エネルギーを扱える方は、「周囲のネガティブエネルギーを掴んで、盛塩に押し込む」ようにすると、極めて短時間での『場の浄化』を行うことが可能です。

お問い合わせ先:『F1144・魔法使い養成学校』
<http://f1144.mahou-gakkou.net/>

浄化の塩の使い方

3. 処分の仕方

湿気を吸う・日光に長時間当たるなどして固まってしまった場合には、指で潰してほぐしてください。

砂埃が大量に入って汚れた場合など、処分する際には、ビニール袋に包んで、可燃ゴミとして出して構いません。(自治体等で特別な指示がある場合、そちらに従ってくださいね!)

焼却時に浄化されますので、最後に外気に触れさせる必要はありません。

『浄化の塩』は、食用では無いのでご注意ください。
(特に、「浄化に使った後で、再利用で食用に・・・」というのは絶対に避けてくださいね!)

4. 盛塩をする際のポイント

✦ 【置き場所について】

盛塩の性質上、『部屋単位』(棚や冷蔵庫の中などは、『箱単位』)で分けて浄化することが必要「空気の流れの悪い場所のエネルギーは、吸いづらい」です。

細かく分けて置くのが理想ですが、面倒な場合には、団扇などで扇いで空気の循環をつくり、風に乗せてエネルギーを移動させ、広い部屋に置いた『浄化の塩』でまとめて吸うと良いでしょう。



✦ 【置く位置(高さ)について】

ネガティブエネルギー(特に、『感情エネルギー』や『生命力を纏ったネガティブエネルギー』など)は、「高いところから低いところに流れる性質」「低いところに留まる性質」が、あるため、盛塩は、「できるだけ低い位置に置くのが望ましい」です。

『浄化の塩』では、エネルギーグッズ化することにより、約20cm程度の段差であれば、下方のネガティブエネルギーも吸えることを確認しています。

(※とはいえ、もし可能であれば、できるだけ地面の近くに置くことをオススメします)



お問い合わせ先:『F1144・魔法使い養成学校』
<http://f1144.mahou-gakkou.net/>